

## 平成28年産水稻の出穂状況について（8月18日現在）

### 1 出穂状況等（概況及び今後の管理）

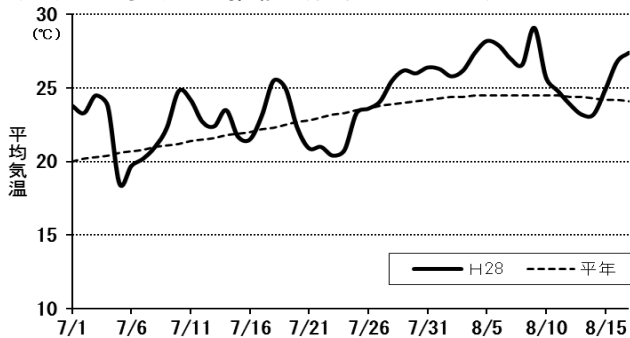
- 8月18日現在、63,834ha（水稻作付見込面積の98.7%）で出穂が確認され、本年の穂揃期（県作付見込面積の95%で出穂）は8月11日となり、平年並みとなっている。
- 登熟期間（※1）に高温が続くと白未熟粒等が多発し、品質低下を招く恐れがあるため、本田の水温・地温を低下させる被害軽減策として「昼間深水・夜間落水管理」（※2）、または用水の確保が難しい地域においては「走水等により土壌を湿潤状態に保つ水管理」を行うよう指導している。
- 早期落水は登熟不良や品質低下の原因となるので、落水時期は出穂後30日以降を目安とする。
- 高温で推移すると、斑点米カメムシ類の活動が活発化し、斑点米の被害が増加するため、「穂揃期」と「その7～10日後」の2回防除を実施するよう指導している。

※1 籾殻の中で米粒が成長する期間。

※2 晴天等の高温時において、昼間はできるだけ深水管理とし、夜間は逆に落水管理とする水管理方法。1日の用水温の推移を見ると、気温よりも数時間遅れて水温の低下が見られるので、午前9時～10時頃までにかん水し、気温が用水温を下回り始める午後4時頃に落水するのが望ましい。

### 2 具体的データ

#### (1) 平均気温の推移（仙台アメダス）



#### (2) 旬別の気象データ（仙台アメダス）

	平均気温(°C)		降水量の合計(mm)		日照時間(時間)	
	平年差		平年比		平年比	
6月	19.8	1.3	157.5	108%	151.9	114%
7月上旬	22.2	1.6	39.0	64%	29.9	87%
中旬	23.2	1.2	12.5	18%	47.3	135%
下旬	23.5	-0.2	4.5	9%	53.3	106%
7月	23.0	0.8	56.0	31%	130.5	109%
8月上旬	27.0	2.4	27.0	53.5%	76.8	146.0%

#### (3) 地方振興事務所・地域事務所別及び地帯区分別出穂状況

##### ①地方振興事務所・地域事務所別

地区名	水稻作付見込面積(ha)	8月18日現在出穂状況			進行月日			(参考)平成27年度		
		出穂面積(ha)	進行率(%)		出穂始期	出穂期	穂揃期	出穂始期	出穂期	穂揃期
大河原	6,791	6,686	98.5	7/28	8/2	8/10	7/25	7/29	8/6	
仙台	12,274	12,172	99.2	7/29	7/31	8/9	7/26	7/30	8/8	
大崎	18,314	18,176	99.2	7/30	8/3	8/12	7/25	7/29	8/5	
栗原	8,975	8,970	99.9	7/29	8/2	8/10	7/26	7/28	8/8	
登米	9,916	9,470	95.5	7/31	8/2	8/10	7/28	7/30	8/4	
石巻	7,478	7,449	99.6	7/29	8/2	8/10	7/25	7/29	8/4	
気仙沼	927	911	98.3	8/2	8/6	8/12	7/29	8/2	8/8	
県計	64,675	63,834	98.7	7/29	8/2	8/11	7/26	7/29	8/7	

##### ②地帯区分別

地帯区分	水稻作付見込面積(ha)	8月18日現在出穂状況	
		出穂面積(ha)	進行率(%)
山間高冷	988	968	98.0
西部丘陵	5,441	5,389	99.0
北部平坦	42,588	41,981	98.6
南部平坦	5,450	5,399	99.1
仙台湾沿岸	8,622	8,569	99.4
三陸沿岸	1,586	1,528	96.3
県計	64,675	63,834	98.7

※出穂始期、出穂期、穂揃期は、それぞれ水稻作付見込面積の5%、50%、95%以上が出穂した日である。

※平成28年作付見込面積は、農産園芸環境課でとりまとめた主食用米の作付見込面積を用いた。

#### (4) 出穂時期の比較

区分	出穂始期(5%)	出穂期(50%)	穂揃期(95%)
本年	7月29日	8月2日	8月11日
前年	7月26日	7月29日	8月7日
平年	8月2日	8月5日	8月11日
平年差	4日早い	3日早い	平年並み

※平年値は平成18～27年の10か年のうち最も早い年と最も遅い年を除いた8か年の平均値を用いた。

※刈取状況は9月中旬頃の発表を予定しています。